

# 上下水道事業

## 令和5年度 単年度実施計画



令和5年 11 月改定  
堺市上下水道局



堺市上下水道局  
マスコットキャラクター  
すいちゃん



堺市上下水道局  
PRキャラクター  
マモルンダー

# 目次

I. 堺市上下水道事業経営戦略 2023-2030 について	1
II. 単年度実施計画について	2
III. KGI（重要目標達成指標）一覧	2
IV. 施策体系・KPI（重要業績評価指標）一覧	3
V. 収支見通し	5
水道事業の収支見通し	5
下水道事業の収支見通し	6
VI. 単年度実施計画	7
<b>政策 01 市民の健康と快適な暮らしの確保</b>	
施策 01 良質な水道水質の維持	7
事業 ① 良質な水道水質の維持	8
施策 02 安全で良好な水環境の維持	9
事業 ② 汚水の適正処理の推進	10
事業 ③ 公共用水域への汚水流出防止	11
施策 03 戦略的な上下水道施設の管理	12
事業 ④ 水道施設の維持修繕・更新・最適化	13
事業 ⑤ 下水道施設の維持・改築修繕・最適化	15
<b>政策 02 災害時の飲料水と衛生環境の確保</b>	
施策 01 発災時における上下水道機能の確保	16
事業 ⑥ 水道施設の耐震化・バックアップ	17
事業 ⑦ 下水道施設の耐震化	18
施策 02 浸水対策の推進	19
事業 ⑧ 雨水整備の推進	20
施策 03 上下水道の被災に備えた対策の推進（公助）	21
事業 ⑨ 災害対応力の強化	22
事業 ⑩ 飲料水の確保	24
施策 04 自助・共助の活動促進	25
事業 ⑪ 自助・共助の啓発（平時の情報発信）	26
事業 ⑫ 災害情報の発信（非常時の情報発信）	28
<b>政策 03 安定した経営の実現</b>	
施策 01 企業力の向上	29
事業 ⑬ 挑戦する人材の育成	30
事業 ⑭ 魅力ある組織の構築	31
事業 ⑮ DX 推進	32
施策 02 経営基盤の強化	35
事業 ⑯ 収支バランスの改善（水道事業）	36
事業 ⑰ 収支バランスの改善（下水道事業）	37
事業 ⑱ 広域連携の推進	38
事業 ⑲ 公民連携の推進	39
事業 ⑳ 包括的民間委託のモニタリング及び効果検証	40
<b>政策 04 信頼される上下水道へ</b>	
施策 01 利用者の利便性の向上	41
事業 ㉑ 来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスの推進	42
施策 02 利用者との信頼関係の構築	44
事業 ㉒ 利用者との相互理解	45
施策 03 カーボンニュートラルへの貢献	46
事業 ㉓ エネルギー使用量の削減	47
事業 ㉔ 再生可能エネルギーの利用推進	48

# I. 堺市上下水道事業経営戦略 2023-2030 について

「堺市上下水道事業経営戦略 2023-2030」(以下、経営戦略)は、50年間の長期の方向性と長期達成目標(未来像)を基にした8か年の基本計画であり、人口減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、上下水道事業を取り巻く厳しい経営環境の中でも持続的経営を実現するために、具体的な目標と取組を示したものです。

経営戦略のめざすべき姿を具体化した3つのゴールとその実現に向けて4つの政策を設定し、政策を実現するための方策として施策と事業を紐づけています。

めざすべき姿

## イノベーティブで「SMART」な上下水道

-変化に柔軟で、最適な上下水道システム-

### 「SMART」

最適・スリム

5つの視点(持続可能性、保全性、適応性、強靭性、透明性)を備えた上下水道システムをめざします。



<b>S</b>	Sustainability 持続可能性	… 将来にわたり持続可能
<b>M</b>	Maintainability 保全性	… 適切かつ容易に管理
<b>A</b>	Adaptability 適応性	… 変化に順応
<b>R</b>	Resiliency 強靭性	… 災害に強く、 復元力が高い
<b>T</b>	Transparency 透明性	… 客観的データに基づく 施策立案

3つのゴール

安全・安心の戦略

**ゴール** 上下水道施設の適切な資産管理

**KGI**

水道の老朽管<sup>※1</sup> → 0%維持  
下水道の劣化管<sup>※2</sup>  
→ 適切に措置されている

安定・持続の戦略

**ゴール** 持続可能な経営

**KGI**

累積利益 → 黒字の確保  
累積資金 → 黒字の確保

信頼・サービスの戦略

**ゴール** 事業に対する理解度・利便性向上

**KGI**

コールセンターへの問合せ件数  
→ 2割以上減少(R3年度比)

※1 目標耐用年数を超過した管路  
※2 調査により、対策が必要と判断される管きょ



4つの政策

政策1 市民の健康と快適な暮らしの確保

政策2 災害時の飲料水と衛生環境の確保

政策3 安定した経営の実現

政策4 信頼される上下水道へ

## II. 単年度実施計画について

経営戦略の達成に向け、PDCA サイクルによるマネジメントを実施するために作成しています。8年間の計画期間である経営戦略を基に、当該年度に実施する具体的取組を記載し、職員に周知のうえ局一丸となって業務を進めます。

ゴールは KGI (Key Goal Indicator: 重要目標達成指標)、施策は KPI (Key Performance Indicator: 重要業績評価指標) により管理します。また各取組において各担当課で管理している PI (Performance Indicator: 業績評価指標) ※のうち KPI への貢献度が特に高いものを重点 PI として設定し、事業の評価に用います。

### KGI 重要目標達成指標

Key Goal Indicator

• • •

達成すべき目標に対し、その達成度合いを定量的に評価するための指標

3つのゴールの達成度を測るために KGI を設定

### KPI 重要業績評価指標

Key Performance Indicator

• • •

達成すべき目標に対し、どれだけの進捗がみられたかを中間的に評価するための定量的な指標

各施策の進捗を評価するために KPI を設定

### 重点 PI

• • •

各事業を評価するために重点 PI を設定

## III. KGI (重要目標達成指標) 一覧

### 安全・安心の戦略

ゴール ▶ 上下水道施設の適切な資産管理

KGI	計画策定時の値	目標値	最新値 (R3 年度)
水道の老朽管	0%	0%維持	0%
下水道の劣化管	適切に措置されている	適切に措置されている	適切に措置されている

### 安定・持続の戦略

ゴール ▶ 持続可能な経営

KGI	計画策定時の値	目標値	最新値 (R3 年度)
累積利益	-	黒字の確保	-
累積資金	-	黒字の確保	-

### 信頼・サービスの戦略

ゴール ▶ 事業に対する理解度・利便性向上

KGI	計画策定時の値	目標値	最新値 (R3 年度)
コールセンターへの問合せ件数	102,977 件 (R3 年度)	2割以上減少 (R3 年度比)	102,977 件 (R3 年度)

## IV. 施策体系・KPI（重要業績評価指標）一覧

### 政策01 市民の健康と快適な暮らしの確保

施策				事業	分野
施策名	KPI（重要業績評価指標）				
	名称	R5 計画値	R12 計画値		
01 良質な水道 水質の維持	水質基準適合率	100%		① 良質な水道水質の維持	水道
02 安全で良好 な水環境の 維持	放流水質基準達成率	100%		② 汚水の適正処理の推進	下水道
	未水洗汚水量	5,252m <sup>3</sup>	4,728m <sup>3</sup>	③ 公共用水域への汚水流出防止	
03 戦略的な上 下水道施設 の管理	水道管路耐震化率	32.3%	39.2%	④ 水道施設の維持修繕・更新・最適化	水道
	有効率	95.0%以上	R5~8の実績 を基に設定		
	下水道管きよの 計画的調査率	100%	0%(R6) →100%	⑤ 下水道施設の維持・改築修繕・最適化	下水道

### 政策02 災害時の飲料水と衛生環境の確保

施策				事業	分野
施策名	KPI（重要業績評価指標）				
	名称	R5 計画値	R12 計画値		
01 発災時における 上下水道機能の 確保	優先耐震化路線の 耐震化率	98.0%	100% (R7)	⑥ 水道施設の耐震化・バックアップ	水道
	配水池の耐震化率	77.4%	84.4%		
	重要な管きよの 耐震化率	96.4%	98.3%	⑦ 下水道施設の耐震化	下水道
02 浸水対策の推 進	重点地区の浸水 対策実施率	7.7%	69.2%	⑧ 雨水整備の推進	下水道
03 上下水道の被災に 備えた対策の推進（公 助）	上下水道機能の 応急復旧の短縮	期間短縮をめざす ※国や府の指針： 水道25日、下水道30日		⑨ 災害対応力の強化	水道・ 下水道
				⑩ 飲料水の確保	水道
04 自助・共助の活 動促進	災害に備えて家庭 又は地域等で 対策を講じている 割合 （市政モニター アンケート結果）	74%	80%	⑪ 自助・共助の啓発（平時の情報発信）	水道・ 下水道
				⑫ 災害情報の発信（非常時の情報発信）	

### 政策 03 安定した経営の実現

施策				事業	分野
施策名	KPI (重要業績評価指標)				
	名称	R5 計画値	R12 計画値		
01 企業力の向上	研究発表等件数 (計画期間内累計)	15 件	120 件	⑬ 挑戦する人材の育成	水道・ 下水道
	時間外勤務総時間数の削減率 (R1 年度比)	10%	20%	⑭ 魅力ある組織の構築	
				⑮ DX 推進	
02 経営基盤の強化	純損益 (水道事業)	40 億円	各年度の計画 値を上回る	⑯ 収支バランスの改善 (水道事業)	水道
	単年度資金収支 (水道事業)	32 億円		⑰ 収支バランスの改善 (下水道事業)	下水道
	純損益 (下水道事業)	3 億円	各年度の計画 値を上回る	⑱ 広域連携の推進	水道・ 下水道
	単年度資金収支 (下水道事業)	△13 億円		⑲ 公民連携の推進	
			⑳ 包括的民間委託のモニタリング及び効果検証		

### 政策 04 信頼される上下水道へ

施策				事業	分野
施策名	KPI (重要業績評価指標)				
	名称	R5 計画値	R12 計画値		
01 利用者の利便性の向上	「すいりん」の登録率	13%	20%	⑳ 来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスの推進	水道・ 下水道
	来庁による給排水設備の申請及び受付窓口の利用者数の減少率	給排水 0% 受付 △15%	△80% △80%		
02 利用者との信頼関係の構築	広報・広聴の満足度 (項目「満足していない」の割合) (市政モニターアンケート結果)	5.0%未満		㉑ 利用者との相互理解	水道・ 下水道
03 カーボンニュートラルへの貢献	温室効果ガス排出量の削減率 (H25 年度比)	—	△50%	㉓ エネルギー使用量の削減	水道・ 下水道
				㉔ 再生可能エネルギーの利用推進	

## V. 収支見通し

### 水道事業の収支見通し

		(参考)←		→(推計)			(単位：億円)
項目		R3年度 決算	R4年度 決算	R5年度 予算	R6年度 見込	R7年度 見込	R8年度 見込
収 益 的 収 支	水道料金	153	132	151	148	147	146
	その他収入	23	42	70	22	21	21
	収益的収入合計 (A)	175	174	221	170	168	167
	維持管理費	119	119	133	120	117	117
	(うち人件費)	17	17	17	16	16	16
	(うち受水費)	74	72	73	72	71	70
	資本費	46	47	48	50	51	53
	(うち支払利息)	4	4	5	6	6	6
	(うち減価償却費等)	42	43	43	44	45	46
	収益的支出合計 (B)	165	166	181	170	168	169
収益的収支差引 (C=A-B)	10	8	40	0	0	△2	
資 本 的 収 支	企業債	33	68	79	51	37	44
	その他収入	5	7	6	5	5	5
	資本的収入合計 (D)	38	74	85	57	42	49
	建設改良費	61	84	122	77	60	71
	企業債償還金	16	16	15	16	16	16
	資本的支出合計 (E)	76	100	137	93	76	87
資本的収支差引 (F=D-E)	△38	△26	△52	△36	△34	△38	
内部留保資金 (G)	34	38	42	39	38	40	
単年度資金収支 (H=C+F+G)	7	20	30	2	4	0	
累積資金(引当金含む)	82	100	129	132	135	136	
企業債残高	367	418	482	518	539	567	

※各金額は税込額。

※各金額は単位未満を四捨五入し、端数調整は行っていません。

※補填財源は損益勘定留保資金(減価償却費等から長期前受金を差し引いたもの)や積立金(累積資金に含まれる)等のこと。

※上記数値は決算を反映した数値を記載しています。予算欄には繰越額が含まれています。

### 建設改良費の内訳 主な事業の投資額(令和5年度)

対策名	老朽化対策	耐震化対策	その他
投資額(億円)	80	34	7



## 下水道事業の収支見通し

(参考) ← | → (推計) (単位：億円)

項目		R3年度 決算	R4年度 決算	R5年度 予算	R6年度 見込	R7年度 見込	R8年度 見込
収益的 収支	下水道使用料	159	157	159	157	156	155
	その他収入	135	136	144	138	146	146
	収益的収入合計 (A)	294	293	303	295	301	300
	維持管理費	86	90	112	100	102	102
	(うち人件費)	16	17	18	17	17	17
	(うち維持管理費等)	70	73	95	83	85	85
	資本費	191	186	187	184	190	190
	(うち支払利息)	35	32	30	29	27	26
	(うち減価償却費等)	156	155	157	155	163	164
収益的支出合計 (B)	276	276	299	284	292	292	
収益的収支差引 (C=A-B)	18	17	3	12	10	8	
資本的 収支	企業債	130	114	192	134	116	108
	その他収入	53	45	90	70	57	57
	資本的収入合計 (D)	183	159	282	204	173	165
	建設改良費	133	110	228	152	133	127
	企業債償還金	175	176	176	172	165	163
	資本的支出合計 (E)	309	286	404	325	298	291
資本的収支差引 (F=D-E)	△126	△127	△122	△121	△125	△125	
内部留保資金 (G)	103	102	111	106	110	111	
単年度資金収支 (H=C+F+G)	△6	△9	△10	△3	△6	△6	
累積資金(引当金含む)	60	51	40	37	31	25	
企業債残高	2372	2311	2327	2289	2240	2186	

※うち一般会計繰入金

収益的収支 (収益的収支その他収入に含む)	73	73	76	77	82	82
資本的収支 (資本的収支その他収入に含む)	5	4	4	2	2	2

※各金額は税込額。

※各金額は単位未満を四捨五入し、端数調整は行っていません。

※補填財源は損益勘定留保資金(減価償却費等から長期前受金を差し引いたもの)や積立金(累積資金に含まれる)等のこと。

※上記数値は決算を反映した数値を記載しています。予算欄には繰越額が含まれています。

### 建設改良費の内訳 主な事業の投資額(令和5年度)



対策名称	老朽化対策	耐震化対策	浸水対策	施設統廃合	その他
投資額(億円)	74	20	91	14	29

## VI. 単年度実施計画

### 政策 01 市民の健康と快適な暮らしの確保

#### 施策 01 良質な水道水質の維持

大阪広域水道企業団から受水した良質な水道水を適切に維持管理し、安全な水を供給します。

SDGs：ゴール		SDGs：ターゲット
 3 すべての人に健康と福祉を	 6 安全な水とトイレを世界中に	3.3 6.1

#### KPI（重要業績評価指標）

水質基準適合率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	100	100	100	100	100	100	100
実 績	<b>100</b>	<b>100</b>					

## 事業 ① 良質な水道水質の維持 [SDGsターゲット 3.3 6.1]

### 事業概要

水質の検査や監視による水道水の安全性の確保に加え、水安全計画に基づく配水管洗浄排水や鉛製給水管の取替等の取組により、大阪広域水道企業団から受水した水道水の水質を維持し、水質基準を満たした安全な水道水を供給します。

令和5年度も継続して適切な水質の管理を行い、水質基準適合率100%を維持します。また、計画的に鉛製給水管の取替を実施します。

### 重点PI

#### 水質基準適合率 (%)

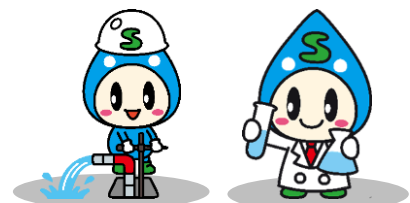
年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	100	100	100	100	100	100	100
実 績	100	100					

### 取 組

No.011	水安全計画の運用・見直し
担当部署	水道事業調整課、水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水安全計画の妥当性の確認、実施状況の検証</li> <li>・検証内容を踏まえたマニュアル等の見直し</li> </ul>
No.012	水質の管理（検査・監視）
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道 GLP システムに基づく水質検査等に関する品質管理業務の実施</li> <li>・市内12か所に設置した水質モニターにおける残留塩素濃度目標値の見直し</li> </ul>
No.013	鉛製給水管の取替
担当部署	水道保全課、給排水設備課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独取替（200件）に加えて、配水支管の更新に合わせた効率的な取替の実施</li> <li>・補助金制度のPR（窓口での資料配布、新規指定工事事業者への周知）</li> </ul>





### 予算額（千円）

項 目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	88,418	0	0	0	88,418
債務負担行為	22,000（令和5～6年度）				



## 施策 02 安全で良好な水環境の維持

水再生センターにおける汚水の適正処理の推進や公共用水域への汚水流出防止により、環境負荷を低減し、安全で良好な水環境の維持を実現します。

SDGs：ゴール				SDGs：ターゲット	
				3.3	3.9
				6.2	6.3 6.6
				11.b	14.1

### KPI（重要業績評価指標）

#### 放流水質基準達成率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	100	100	100	100	100	100	100
実 績	100	100					

#### 未水洗汚水量（千 m<sup>3</sup>）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	5,331	5,252	5,175	5,098	5,022	4,728
実 績	5,410	5,173					

事業概要

水再生センターに流入する汚水を適正に処理し、公共用水域の安全で良好な水環境を維持します。また大阪府で新たに策定する大阪湾流域別下水道整備総合計画を踏まえ、引き続き放流水質の適正処理を行います。

令和5年度はより効率的な維持管理に努めることに加え、水再生センターへの悪水流入を未然に防止する取組や放流水の水質モニタリングを実施することで、良好な水環境を維持します。

また大阪湾流域別下水道整備総合計画について、情報の整理や協議等を行います。

重点PI

放流水質基準達成率 (%)

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	100	100	100	100	100	100	100
実 績	100	100					

取組

No.021	流域別下水道整備総合計画等の反映
担当部署	事業マネジメント担当（下水）
取組概要	・大阪湾流域別下水道整備総合計画の策定に向けた方針等の整理、関係者協議の実施
No.022	水再生センターにおける放流水質の適正維持
担当部署	三宝水再生センター
取組概要	・放流水質モニタリングの実施 （三宝、石津、泉北水再生センター）
No.023	事業場排水の監視
担当部署	三宝水再生センター
取組概要	・事業場等への適切な監視指導の実施（立入検査）

予算額 (千円)

項 目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現 年 度	38,158	0	0	0	38,158
債務負担行為			0		



事業概要

日常生活や社会経済活動から発生する汚水が直接河川などに流出することを抑制し、安全で良好な水環境を維持します。

令和5年度は未普及地区における汚水整備（下水管布設工事の発注・施工）や水洗化啓発の継続、雨天時浸入水の削減に向けた管内水位調査により、公共流域への汚水流出を抑制します。

また雨天時放流水の水質モニタリングを実施し、加えて施設統廃合に係る合流改善への影響を検証します。

重点PI

未水洗汚水量（千 m<sup>3</sup>）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	5,331	5,252	5,175	5,098	5,022	4,728
実 績	5,410	5,173					

取組

No.031	未普及地区（里道・私道など）における汚水整備
担当部署	下水道建設課
取組概要	・私道公共下水道布設制度による下水管布設工事の施工（約0.7km）
No.032	水洗化の促進
担当部署	給排水設備課
取組概要	・水洗化啓発の継続（事業場、共同住宅、未接続家屋等） ・未水洗状態の長期化の防止（公示後3年を迎える未水洗建物） ・未水洗建物に関する情報把握（通報等への対応）
No.033	合流改善の適正管理
担当部署	事業マネジメント担当（下水）、三宝水再生センター
取組概要	・雨天時放流水の水質モニタリングの実施（三宝処理区、石津処理区） ・ポンプ場の統廃合による放流水の水質への影響（合流改善）を検証
No.034	雨天時浸入水の削減
担当部署	下水道管理課
取組概要	・雨天時管内水位調査の実施（泉北処理区）




予算額（千円）

項 目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	638,911	0	576,000	0	62,911
債務負担行為	340,000（令和5～6年度）				



## 施策 03 戦略的な上下水道施設の管理

アセットマネジメント手法を活用し、将来の改築更新需要を見据えた投資量の平準化を図ります。また、将来の水需要の減少を踏まえた施設規模の見直しや適正配置を進めることでライフサイクルコストの低減を図り、安定的な上下水道サービスを提供します。

SDGs：ゴール			SDGs：ターゲット	
 6 安全な水とトイレ を世界中に	 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	 11 住み続けられる まちづくりを	6.1	6.2
			9.1	
			11.b	

### KPI（重要業績評価指標）

#### 水道管路の耐震化率<sup>※1</sup>（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	29.6	30.6	32.3	33.2	34.3	35.2	39.2
実 績	<b>30.3</b>	<b>31.8</b>					

※1 更新対象となる年代に布設された水道管（非耐震管）は、更新に合わせて耐震化するため、管路更新の進捗を示す KPI としています（H17 年度に、耐震性のある水道管を全面採用）。

#### 有効率（水道）（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	—	95 以上	95 以上	95 以上	95 以上	※3
実 績	<b>94.0<sup>※2</sup></b>	<b>95.6</b>					

※2 H30～R3 年度の平均値

※3 R12 年度までの目標は R5～R8 年度の実績値を基に設定

#### 下水道管きょの計画的調査率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	83.0	87.0	100 <sup>※4</sup>	14.2	28.5	42.8	100
実 績	<b>84.8</b>	<b>90.6</b>					

※4 R5 年度で一度調査は完了し、R6 年度から新たな指標で調査を開始（R6 年度から 0%スタート）

事業概要

水道施設（水道管路、水管橋、弁栓類、水道設備、水質検査機器、配水池、建築物）の維持修繕や更新により、水道施設の健全性の確保とライフサイクルコストの低減を図り、安定的な水道サービスの提供を実現します。また 50 年先の未来を見据え、水道施設の統廃合やダウンサイジングによる施設規模の最適化を検討します。

令和 5 年度は、水道管路（基幹管路、配水支管）や水管橋の更新工事を発注・施工します。また配水支管の更新工事において、公民連携手法による設計施工一括発注（小規模簡易 DB 方式）の試行工事を実施しその結果について効果・検証を行います。

重点 PI

水道管路の耐震化率※（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	29.6	30.6	32.3	33.2	34.3	35.2	39.2
実 績	<b>30.3</b>	<b>31.8</b>					

※ 更新対象となる年代に布設された水道管（非耐震管）は、更新に合わせて耐震化するため、管路更新の進捗を示す KPI としています（H17 年度に、耐震性のある水道管を全面採用）。

取組

No.041	水道管路の点検・維持修繕・更新
担当部署	水道建設課、水道保全課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道管路の更新工事                             <ul style="list-style-type: none"> <li>基幹管路 [φ 350mm 以上] の施工（中区学園町 3.4km ほか）</li> <li>配水支管 [φ 300mm 以下] の施工（南区赤坂台 1.9km ほか）</li> <li>水管橋の更新（志里重橋ほか 3 橋）</li> </ul> </li> <li>小規模簡易 DB 方式による試行工事の実施、検証。検証結果を踏まえた整理</li> <li>弁栓類、水管橋等の維持管理業務の包括発注・検証</li> <li>漏水調査の実施（北区・堺区）</li> <li>不明水対策の取組（要因分析を踏まえた漏水調査計画の見直しなど）</li> </ul>
No.042	水道設備の点検・維持修繕・更新（機械・電気）
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>無停電電源装置の構成見直しやダウンサイジング検討</li> <li>維持管理計画に基づく設備全般の保守点検業務の実施や計画の見直し</li> </ul>
No.043	水道施設の点検・維持修繕（配水池・建築物）
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設改修工事の実施（岩室配水場ポンプ棟ほか）</li> <li>石綿除去工事の実施（小平尾浄水場）</li> <li>建築物劣化度調査業務の実施（さつき野配水池ほか）</li> <li>配水池の点検、清掃の実施</li> </ul>
No.044	水道施設の統廃合やダウンサイジングによる最適化
担当部署	水道事業調整課、水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設統廃合（R9 年度）に向けた施設更新や水運用の切替等のスケジュール調整（小平尾配水場、さつき野配水池の運用停止及び新太井分岐運用開始）</li> <li>岩室配水場 No.1 配水池の管路化工事の施工（配水池の廃止）</li> </ul>



予算額 (千円)

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	7,813,392	0	4,952,100	140,000	2,721,292
債務負担行為	5,407,000 (令和 5~7 年度)				



事業概要

下水道管きょや水再生センター・ポンプ場の維持、改築修繕により健全性の確保とライフサイクルコストの低減を図り、安定的な下水道サービスの提供を実現します。また、50年先の未来を見据え、施設の統廃合やダウンサイジングによる施設規模の最適化を検討します。

令和5年度も継続して、老朽管の調査を実施し、調査の結果、破損等により対策が必要となる「劣化管」は適切に措置します。また、マンホールポンプの改築工事に加え、下水処理場・ポンプ場設備の改築工事を実施します。

下水道施設の最適化においては、陵西汚水移送線の施工や、三宝污水ポンプ場の基本設計を実施します。

重点PI

下水道管きょの計画的調査率（%）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	83.0	87.0	100*	14.2	28.5	42.8	100
実 績	<b>84.8</b>	<b>90.6</b>					

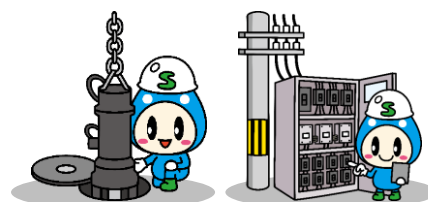
※ R5年度で一度調査は完了し、R6年度から新たな指標で調査を開始（R6年度から0%スタート）

取組

No.051	下水道管きょの維持・改築修繕
担当部署	下水道建設課、下水道保全課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽管調査業務の実施</li> <li>・下水道管きょの改築工事の施工（南区桃山台 約2km ほか）</li> <li>・マンホールポンプ改築工事の施工（西区上野芝向ヶ丘町 ほか 5か所）</li> <li>・下水道管きょの耐震化工事におけるDB方式による試行工事の実施</li> </ul>
No.052	水再生センター・ポンプ場の維持・改築修繕
担当部署	下水道施設課、三宝水再生センター
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ場沈砂池設備更新工事の施工（湊石津下水ポンプ場ほか）</li> <li>・下水道設備のアセットマネジメントシステムへの維持管理情報の蓄積や改築計画の見直し</li> </ul>
No.053	水再生センター・ポンプ場の最適化
担当部署	下水道施設課、下水道建設課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陵西汚水移送線（三宝-古川間）の施工（約1.7km）</li> <li>・三宝污水ポンプ場の基本設計の実施</li> </ul>

予算額（千円）



項 目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現 年 度	6,721,896	1,718,705	4,506,295	0	496,896
債務負担行為	8,368,00（令和5～9年度）				



## 政策 02 災害時の飲料水と衛生環境の確保

### 施策 01 発災時における上下水道機能の確保

地震や風水害などの災害時に、上下水道施設の被害を最小限にとどめ、給水機能と汚水処理機能を確保するため、上下水道施設の耐震化や電源の確保を進めます。

SDGs：ゴール		SDGs：ターゲット
 6 安全な水とトイレを世界中に	 11 住み続けられるまちづくりを	6.1 6.2 11.b

#### KPI（重要業績評価指標）

##### 優先耐震化路線の耐震化率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	87.0	96.0	97.5	99.0	100 <sup>※1</sup>	—	—
変更計画	—	—	98.0	99.0	100 <sup>※2</sup>	—	—
実 績	92.3	97.4				—	—

※1 R7年度に目標達成予定

※2 令和4年度実績を踏まえ、早期に耐震化を達成するため、令和5年度より計画を前倒しした。

##### 配水池の耐震化率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	77.4	77.4	77.4	84.4	84.4	84.4	88.4
変更計画	—	—	—	78.5 <sup>※3</sup>	84.4	84.4	84.4
実 績	77.4	77.4					

※3 家原配水場配水池更新工事の工程変更により計画を見直し

##### 【参考】配水池の耐震化率（％）（耐震診断結果反映）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
変更計画	—	—	53.8	54.6	59.1	59.1	71.0
実 績	77.4	77.4					

※ 耐震診断結果を踏まえて、耐震性能を判断し耐震化率の見直しを実施

##### 重要な管きよの耐震化率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	97.7	97.8	96.4 <sup>※2</sup>	96.6	96.9	97.2	98.3
実 績	97.7	97.8					

※2 R5年度から「重要な管きよ」の対象延長を約420kmから約550kmに拡大

## 事業⑥ 水道施設の耐震化・バックアップ [SDGsターゲット 6.1 11.b]

### 事業概要

優先耐震化路線の構築により、地震が発生した際に、特に水道水の供給が必要な重要給水施設（指定避難所や病院等）に至る給水ルートを確認し、耐震性のある配水池で応急給水用水の貯留機能を確保します。また大規模な停電に備え、送水ポンプ等が設置されている水道施設へ自家発電設備を設置することにより電源を確保し、水道水の供給を継続します。さらに、給水区域間のバックアップ時に水圧が低下するおそれのある区域において、大阪広域水道企業団との緊急連絡管を整備することによりバックアップ時の水圧を確保します。

令和5年度は、優先耐震化路線である水道管路（配水支管）の耐震化工事を実施するほか、家原寺配水場の配水池更新工事の実施（令和6年度完成予定）、大阪広域水道企業団と緊急連絡管を構築するための基本設計業務を実施します。



### 重点PI

#### 優先耐震化路線の耐震化率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	87.0	96.0	97.5	99.0	100 <sup>※1</sup>	—	—
変更計画	—	—	98.0	99.0	100 <sup>※2</sup>	—	—
実 績	<b>92.3</b>	<b>97.4</b>				—	—

※1 R7年度に目標達成予定

※2 令和4年度実績を踏まえ、早期に耐震化を達成するため、令和5年度より計画を前倒しした。

### 取組

No.061	水道管路の耐震化（優先耐震化路線、更新に合わせた耐震化）
担当部署	水道建設課
取組概要	・優先耐震化路線の構築（東区北野田 0.7km ほか）
No.062	水道施設の耐震化（配水池）
担当部署	水運用管理課、水道事業調整課
取組概要	・家原寺配水場配水池更新工事の施工 ・耐震診断結果を踏まえた施工の優先順位やスケジュール調整
No.064	配水機能のバックアップの拡充
担当部署	水道事業調整課、水道建設課
取組概要	・緊急連絡管の整備に係る基本設計業務の実施

### 予算額（千円）

項 目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現 年 度	1,864,151	0	1,414,300	0	449,851
債務負担行為	469,000（令和5～6年度）				

事業概要

緊急交通路に埋設された管きょや、指定避難所に加え福祉避難所から水再生センターをつなぐ管きょ等を新たに対象範囲とした「重要な管きょ」及び水再生センター・ポンプ場の「重要な土木施設」の耐震化を実施します。これにより、被災時における下水の流下機能や、水再生センター・ポンプ場の揚水機能、消毒機能等、必要最低限の機能を確保し、緊急交通路の道路陥没や街中への汚水流出の防止とトイレ機能を確保します。

令和5年度は、広域避難地内の「重要な管きょ」等の耐震化工事を行います。また、指定避難所にマンホールトイレを設置します。水再生センター・ポンプ場について耐震診断や耐震化工事などを実施します。

重点PI

重要な管きょの耐震化率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	97.7	97.8	96.4*	96.6	96.9	97.2	98.3
実 績	97.7	97.8					

※ R5年度から対象延長を約420kmから約550kmに拡大

取組

No.071	下水道管きょの耐震化
担当部署	下水道建設課、下水道保全課
<b>取組概要</b> ・管きょ耐震化工事の施工（北区金岡町 約5km）※ ・指定避難所におけるマンホールトイレの設置（大阪健康福祉短期大学 5基） ・停電時の溢水リスク低減を目的としたマンホールポンプから自然流下への切り替え検討（設計業務の発注）	
No.072	水再生センター・ポンプ場の耐震化
担当部署	下水道施設課
<b>取組概要</b> ・設備更新工事に併せた耐震化工事の発注（三宝水再生センター高段ポンプ場ほか） ・耐震診断業務の実施（浜寺下水ポンプ場ほか）	

※ 国費等の財源調整等により、耐震化工事の路線を変更



予算額（千円）

項 目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現 年 度	996,000	347,700	574,800	0	73,500
債務負担行為	515,000（令和5～6年度）				



## 施策 02 浸水対策の推進

大雨による内水氾濫から市民の生命と財産を守るため、過去の実績や浸水シミュレーションから浸水危険解消重点地区を選定し、ハード対策とソフト対策の両面から浸水対策を推進します。また、気候変動の影響を考慮した計画の見直しを行います。

SDGs：ゴール		SDGs：ターゲット
 11 住み続けられるまちづくりを	 13 気候変動に具体的な対策を	11.5 11.b 13.1

### KPI（重要業績評価指標）

#### 重点地区の浸水対策実施率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	85.8	85.8	7.7	7.7	30.8	53.8	69.2
実 績	<b>85.8</b>	<b>85.8</b>					

※ 現在予定している事業を実施した場合の見通しであり、事業実施に向け検討、協議を続けます。  
 なお、R3,4年度は重点地区（24地区）の対策実施率を示しています。R5年度より対策地区を見直し、新たな重点地区（13地区）にて対策を開始します（R5年度から0%スタート）。

事業概要

局地的な大雨等に対し、浸水危険解消重点地区等のハード対策、雨水流出抑制施設の設置促進等のソフト対策により効率的かつ効果的な浸水対策を計画的に進め、被害の最小化を図ります。浸水危険解消重点地区は、令和5年度から新たに7地区を選定し、対策未完了である6地区と併せた13地区に対し対策を行います。

令和5年度も継続して、浸水危険解消重点地区の雨水整備（設計・施工）を計画的に進めます。また、雨水流出抑制施設設置について、関連部署と連携し条例化に向けた取組を開始します。気候変動に適応する計画の見直しでは、対策地区毎の整備計画の検討に着手します。

重点PI

重点地区の浸水対策実施率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	85.8	85.8	7.7	7.7	30.8	53.8	69.2
実 績	<b>85.8</b>	<b>85.8</b>					

※ 現在予定している事業を実施した場合の見直しであり、事業実施に向け検討、協議を続けます。なお、R3,4年度は重点地区（24地区）の対策実施率を示しています。R5年度より対策地区を見直し、新たな重点地区（13地区）にて対策を開始します（R5年度から0%スタート）。

取組

No.81	気候変動を考慮した計画の見直し
担当部署	事業マネジメント担当（下水）
取組概要	・地区別整備計画に係る検討業務の実施
No.082	浸水危険解消重点地区等の雨水整備
担当部署	下水道建設課、下水道施設課、事業マネジメント担当（下水）
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古川下水ポンプ場建設工事の施工</li> <li>・管きょ布設工事の施工（北区金岡町 L=0.6km）</li> <li>・重点地区における設計業務の実施（福田地区ほか）</li> <li>・【R4.9.2局地的大雨による浸水被害に対する雨水整備】実施設計業務の実施（南区 三原台ほか）</li> </ul>
No.083	雨水流出抑制施設の設置
担当部署	下水道管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水流出抑制施設設置の条件化に向けた取組の実施</li> <li>・施設管理者や開発事業者等に対する雨水流出抑制施設設置の促進</li> </ul>




予算額（千円）

項 目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現 年 度	6,598,050	2,826,450	3,711,550	0	60,050
債務負担行為	520,000（令和5～7年度）				



## 施策 03 上下水道の被災に備えた対策の推進（公助）

災害時の早期復旧や事故の未然防止に向け、訓練等を通して危機事象への対応力を向上させます。また、応急給水活動計画の実効性の確保や備蓄水の分散配置を進め、災害時の飲料水を確保します。

SDGs：ゴール			SDGs：ターゲット		
 6 安全な水とトイレを世界中に	 11 住み続けられるまちづくりを	 17 パートナーシップで目標を達成しよう	6.1	6.b	6.2
			11.5	11.b	
			17.17		

### KPI（重要業績評価指標）

#### 上下水道機能の応急復旧の短縮

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	期間短縮をめざす						
実績							

※応急復旧の目標値（水道 25 日、下水道 30 日）：国や府の指針に基づく目標



**事業概要**

局職員が訓練や防災教育等を通じて、業務継続計画（BCP）や各種マニュアル、過去の事故等の教訓を十分に把握し、災害発生時に自ら考え、迅速かつ的確な行動がとれるようにします。災害時の応急給水及び応急復旧に必要な人的・物的なリソース不足に対応するため、他事業体や団体との災害協定の締結や合同訓練を推進し、災害対応の実効性を高めます。また、IoT等の新技術を積極的に活用することで、被害状況の情報収集や対策立案等の効率化・最適化を図り、迅速かつ的確な上下水道施設や設備の復旧及び応急給水活動につなげます。

令和5年度は、19大都市水道局災害相互応援に関する覚書に基づく応援幹事都市（浜松市、岡山市、仙台市）との水道合同防災訓練の実施など他事業体や他団体との訓練を実施し、発災時の受援体制を強化します。また局内の各対策本部において訓練を実施し、適宜マニュアルの見直しを行います。この他に効率的な災害対応をめざし、IoT等の新技術の導入を検討します。

**重点PI**

**他団体との訓練実施回数**

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上
実 績	5回	8回					

**取組**

No.091	訓練、防災教育によるBCP等の浸透と改善
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練での検証を踏まえた業務継続計画（BCP）や各種マニュアルの見直し</li> <li>・危機管理研修の実施（局内外の研修、新規採用・転入者研修等）</li> <li>・各対策班における課題解決に向けた研修の実施</li> </ul>
No.092	上下水道施設・設備の応急復旧計画の実効性の確保
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後方支援対策本部：他班と調整を行い、想定される応援内容を基に人員確保対策等の訓練を実施 災害協定に基づき、包括的民間委託業者の協力要員の確保や合同訓練を実施</li> <li>・水道対策本部：再編成した班体制にて訓練を実施し、マニュアル等の検証・改訂を実施</li> <li>・下水道管路対策本部：発災後の一次調査における調査頻度の見直し等の検討を実施</li> <li>・下水道施設対策本部：発災後の一次調査終了後の作業内容の見直し等を実施 各施設の被害想定を個別に設定し、対応内容の検討を実施</li> </ul>
No.093	災害対応に活用できるIoT等の新技術の導入
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後方支援対策本部：web会議システムやタブレットを用いた情報伝達訓練の実施、検証</li> <li>・水道対策本部：新技術（漏水調査技術等）の情報収集、導入検討</li> <li>・下水道管路対策本部：新技術（カメラ調査技術等）の情報収集、導入検討</li> <li>・下水道施設対策本部：他自治体、他業種（インフラ関連）の先進事例調査、導入検討</li> </ul>

No.094	他団体との協定締結と訓練の実施
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
<b>取組概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 19 大都市水道局覚書に基づく訓練の実施（堺市主催の 4 市合同防災訓練の実施）</li> <li>・ 日本水道協会関連（関西地方支部や大阪府支部等）の訓練への参加</li> <li>・ 下水道大都市ルールに基づく情報連絡訓練の実施</li> <li>・ 包括的民間委託業者や協定締結事業者等と連携した訓練の実施</li> <li>・ 各種訓練を通じて災害時のリソース不足を洗い出し、新たな協定締結等の必要性を検討</li> </ul>	

**予算額（千円）**

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	5,177	0	0	0	5,177
債務負担行為			0		

事業概要

給水タンク車による医療機関や指定避難所等への運搬給水、災害時給水栓や簡易給水タンクによる応急給水活動の実効性を高めます。また、指定避難所や各区役所の災害用備蓄倉庫、上下水道局災害対策倉庫に飲料水を分散備蓄することで、高齢者や乳幼児等の要配慮者への飲料水を確保します。なお、防災関係機関との連携のもと大阪府の備蓄や流通備蓄、プッシュ型支援を円滑に運用できるよう備えます。

令和 5 年度は応急給水活動計画の見直しや応急給水訓練を実施することで、非常時に備えます。また、応急給水活動計画をブラッシュアップします。また、指定避難所等に設置した災害時給水栓及び簡易給水タンクによる応急給水活動が円滑に行えるように、防災関係機関や区役所、自主防災組織等との連携を強化し、避難所等での上下水道設備の認知度向上、地域住民や堺市指定避難所等対応職員の設営方法の習得に努めます。この他に令和 5 年度に賞味期限が切れる災害用備蓄水を活用した啓発活動を実施します。

取組

No.101	応急給水活動計画の実効性の確保
担当部署	危機管理・広報広聴担当、サービス推進部、水道部
<b>取組概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応急給水活動計画の見直し</li> <li>・ 応急給水訓練の実施</li> <li>・ 円滑な応急給水活動に向けた防災関係機関や区役所、自主防災組織等との連携強化 (地域住民や堺市指定避難所等対応職員への上下水道設備の設営方法の周知など)</li> <li>・ 上下水道設備の設営動画の拡充 (避難所の上下水道設備の設営方法等の動画コンテンツ作成)</li> </ul>	
No.102	備蓄水の分散配置
担当部署	危機管理・広報広聴担当
<b>取組概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 備蓄水の分散配置 (指定避難所や各区役所の災害用備蓄倉庫、上下水道局の災害対策倉庫)</li> <li>・ 賞味期限が近い備蓄水を活用した啓発の実施</li> </ul>	




予算額 (千円)

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	5,842	0	0	0	5,842
債務負担行為			0		



## 施策 04 自助・共助の活動促進

市民が自身や家族、地域の力で災害から身を守り、避難生活において適切な行動が取れるように、非常時をはじめ平時から災害に関する情報を積極的に発信します。

SDGs：ゴール			SDGs：ターゲット		
 6 安全な水とトイレを世界中に	 11 住み続けられるまちづくりを	 17 パートナシップで目標を達成しよう	6.1	6.b	6.2
			11.5	11.b	
			17.17		

### KPI（重要業績評価指標）

災害に備えて家庭又は地域等で対策を講じている割合※（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	72.5	74.0	74.5	75.0	76.0	80.0
実 績	<b>71.0</b>	<b>78.7</b>					

※ 公募 500 名を対象とした市政モニターアンケート結果

事業概要

広報さかいや局ホームページ、SNS、防災マップ等の広報媒体をはじめイベント等を活用して飲料水や携帯トイレの家庭内備蓄、内水ハザードマップの事前確認の重要性等を啓発し、市民の行動変容につなげる取組を推進します。また災害時に地域の力で指定避難所の簡易給水タンクや災害時給水栓、マンホールトイレを設置、運用ができるように、危機管理室や区役所との連携のもと各設備の新設時の説明や校区防災訓練等の機会を通じて習得していただきます。このほか、人命救助の要となる医療機関等において、災害発生時でも必要な飲料水を確保できるように、平時から施設や給排水設備の耐震・停電対策に取り組んでいただくために、啓発や技術的助言等を行います。

令和5年度は、家庭内備蓄の啓発や校区防災訓練等への支援をはじめ、医療機関に対する施設や給排水設備の耐震化や停電対策の啓発、技術的助言など自助、共助の活動を促進します。内水ハザードマップについては、マップの基礎データである浸水想定区域図の見直しに着手します。

重点PI

家庭における飲料水の備蓄率※ (%)

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	72.5	74.0	74.5	75.0	76.0	80.0
実 績	<b>71.0</b>	<b>78.7</b>					

※ 公募500名を対象とした市政モニターアンケート結果

取組

No.111	市民への啓発(家庭内における備蓄、リスクの把握等)
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災啓発活動の実施(イベント等での啓発、機会を捉えた情報発信等)</li> <li>・広報媒体を活用した情報発信(広報さかい、局HP、SNS、動画チャンネルなど)</li> <li>・災害拠点病院や福祉施設、集合住宅等への個別啓発活動の実施</li> </ul>
No.112	校区防災訓練における上下水道設備の設営訓練
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区防災訓練等への積極的な支援 (簡易給水タンクや災害時給水栓、マンホールトイレの設営方法や設備の知識習得など)</li> <li>・上下水道設備の設営動画の拡充(避難所の上下水道設備の設営方法等の動画コンテンツ作成)</li> </ul>
No.113	医療機関等への啓発
担当部署	危機管理・広報広聴担当、サービス推進部、水道部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関との連携強化 (施設の耐震化、停電対策の啓発、技術的助言等)</li> </ul>
No.114	内水ハザードマップの更新
担当部署	事業マネジメント担当(下水)
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内水ハザードマップの更新に向けた浸水想定区域図の見直し(新たに供用を開始する施設の状況及び1000年を超える確率の降雨による浸水想定を反映)</li> </ul>

予算額 (千円)

項 目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現 年 度	0	0	0	0	0
債務負担行為	50,000 (令和 5~6 年度)				



**事業概要**

市民が災害発生時に自身や家族の安全を守る行動が適切に取れるように、関係機関との連携のもと迅速かつ的確に必要な情報を発信します。また情報発信にあたっては、あらかじめ策定している計画やマニュアルの内容に沿って迅速かつ的確に情報を収集し、上下水道施設、設備等の被害状況や復旧目途、応急給水等の情報を局ホームページや SNS 等を活用して発信できる体制を強化します。

令和 5 年度は非常時に市民の皆様が的確に情報を受け取れるよう、局が情報を発信する媒体を知っていただく取組を強化します。また、局内における情報発信に係る訓練やマニュアルの検証、関係機関と連携した新たなマニュアルの整備等により、情報発信の体制を強化します。

**取組**

No.121	災害情報の発信
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
<b>取組概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時に情報発信を行う媒体（局ホームページや局 SNS（Twitter、LINE）、スマートフォンアプリ「すいりん」等）の啓発を実施</li> <li>・局広報媒体の運用マニュアルの確認及び災害時の情報発信に係る訓練、研修の実施</li> <li>・関係機関との連携のもと、災害時要支援者を含む利用者への緊急情報の発信について、マニュアル等を整理</li> </ul>	

**予算額（千円）**



項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	39	0	0	0	39
債務負担行為			0		



## 政策 03 安定した経営の実現

### 施策 01 企業力の向上

上下水道事業を支える職員の人材育成や、職員が活躍できる環境整備を推進し「職員力」「組織力」を強化することで企業力の向上を図ります。また DX を推進することで、より効果的な仕事の変革に取り組めます。

SDGs：ゴール		SDGs：ターゲット
 5 ジェンダー平等を 実現しよう	 8 働きがいも 経済成長も	5.4 5.5 8.2 8.5

#### KPI（重要業績評価指標）

##### 研究発表等件数（累積件数）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	—	15	30	45	60	120
実 績	—	12					

##### 時間外勤務総時間数の削減率※（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	—	10.0	11.4	12.8	14.3	20.0
実 績	13.9	3.2					

※ R1 年度を基準年度とした削減率



事業概要

業務遂行に必要な基礎的能力を確実に習得することで職員力の強化を図り、自己成長や仕事の変革などに挑戦し続ける人材を育成します。

令和5年度も継続してOJTの強化等に取り組み、基礎的能力の向上を図り、自己成長やキャリア形成の支援を推進します。また人事評価制度の効率的な運用を検討し、職員の課題解決・業務改善能力の向上を図ります。

重点PI

課題解決・業務改善の実践率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	—	—	※	※	※	※
実 績	—	—					

※ R5年度に実績値（＝基準値）を確認予定。以降、基準値よりも上位に目標値を設定。

取組

No.131	基礎的能力の向上
担当部署	技術力強化担当
<b>取組概要</b> ・各種研修、局内インターン等の実施 ・技術職員の実践的な育成プログラムの充実と活用	
No.132	自らの学びを支援
担当部署	技術力強化担当、事業サポート課
<b>取組概要</b> ・貸出図書、資格取得支援制度の運用 ・自己研鑽ツールの利用率向上に向けたメニューの充実、周知 ・キャリア形成支援メニューの検討、構築	
No.133	課題解決・業務改善能力の向上
担当部署	事業サポート課
<b>取組概要</b> ・組織目標と個人目標の連動 ・「課題解決・業務改善能力の向上」と人事評価の連動	

予算額（千円）

項 目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現 年 度	16,077	0	0	0	16,077
債務負担行為			0		



事業概要

堺市職員ワーク・ライフ・バランス計画を踏まえ、働く職員にとって「やりがいと成長を実感できる働き方」「パフォーマンスを最大限発揮できる組織」を実現できる魅力ある組織(「組織力」の高い組織)の構築に取り組みます。

令和5年度はテレワーク等の推進や堺市版フレックスタイム制度の導入検討を行い、アフターコロナを見据えた多様な働き方ができる環境整備を推進し定着を図ります。

重点PI

年次有給休暇取得率 (%)

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0*
実 績	82.5	84.7					

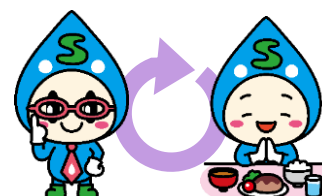
※ 堺市職員ワーク・ライフ・バランス計画の目標値と整合を図っています。

取組

No.141	生産性向上をめざす柔軟な働き方の実現
担当部署	広域・公民連携・DX推進担当、事業サポート課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟な働き方(勤務制度)に関する情報の収集・整理</li> <li>Microsoft365等を活用したタイムマネジメント</li> <li>コミュニケーション向上ツールの活用検討</li> </ul>
No.142	多様な人材が活躍し達成感が得られる環境整備
担当部署	事業サポート課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性が活躍できる環境整備に係る取組の検討</li> <li>仕事意欲の向上に係る取組の検討</li> </ul>
No.143	育児・介護・病気等と仕事の両立支援
担当部署	事業サポート課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児休業取得率向上の取組</li> <li>職員の健康増進の取組推進(堺市立総合医療センターと連携)</li> </ul>

予算額 (千円)

項 目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現 年 度	0	0	0	0	0
債務負担行為			0		



事業概要

ICT の急速な進化や新型コロナウイルス感染症を契機とした社会の変革にスピード感を持って対応するため、業務フローをゼロベースで見直し、利用者サービス向上及び職員の業務効率化の両面において「いつでも、どこでも」をキーワードにアナログな仕事のデジタル化を推進します。またセキュリティ対策を適正に実施し、情報セキュリティインシデントの発生を低減するよう取り組みます。

令和 5 年度も継続して、「上下水道局 DX 推進本部」を軸とした DX 推進や ICT 活用に取り組みます。新技術の活用として、IoT 技術等を用いた管路や設備の維持管理業務の効率化に取り組みます。

DX による新たな変革を行うことができる人材の育成に向け、各種の研修や事例発表会などを実施します。また情報セキュリティ対策の強化においても、研修の実施等により局内の情報セキュリティ意識を向上させます。

取組

No.151	DX 推進、ICT 利活用
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当、各課
<b>取組概要</b> ・上下水道局 DX 推進本部を軸とした DX 推進・ICT 活用（取組内容は DX 取組一覧を参照） ・デジタル人材育成を目的とした研修の実施（DX 推進・変革意識醸成） ・他事業体とのデジタル人材育成についての共同研究	
No.152	情報セキュリティ対策の実施
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当
<b>取組概要</b> ・局内の情報セキュリティ意識の向上を目的とした研修等の実施	

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	28,045	0	0	0	28,045
債務負担行為	357,000（令和 5～11 年度）				




## DX 取組一覧（令和 5 年度）

	取組名	取組概要	担当課
1	工事情報共有システムの利用促進	[水道部] ・工事打合せ簿・材料承諾書・工事履行報告などをシステムで実施 ・施工中の紙文書提出を省略	水運用管理課 水道建設課 水道保全課
		[下水道管路部] ・システム利用推進のため、工事担当課等へのヒアリングの実施 ・引き続き課題整理・検証を実施	下水道事業調整課 下水道建設課 下水道保全課
2-1	工事の共同 Web 受付システムの導入	・令和 4 年度に実施したトライアルで抽出した課題の解消確認 ・当該システムの業務利用可否の判断	水道建設課 水道保全課 下水道建設課 下水道保全課
2-2	工事受付のオンライン化及びオンライン利用率向上による業務効率化※1	・上下水道局への工事受付のオンライン化及びオンライン受付率向上による業務効率化の検討 ・オンライン受付を開始している事業者への上下水道局からのオンライン申請率向上による業務効率化 ・上下水道局からのオンライン申請率向上のため、事業者とのリモート協議やオンライン図面提供などについて事業者との調整を行い、業務フローの見直しを検討	水道建設課 水道保全課 下水道建設課 下水道保全課
3	IoT 活用による漏水検知システムの導入検討	・漏水の多発するエリアにセンサーを設置 ・遠隔監視の実施・効果検証	水道保全課
4	水道設備のアセットマネジメントシステムの導入検討	・民間事業者からアセットマネジメントシステム導入に向けた提案を募集・導入検討 (水運用管理システム更新事業におけるマーケットサウンディングを活用)	水運用管理課 経営企画室
5	マンホールポンプほか保守点検業務の AI 診断機能による業務効率化	・AI 診断機能を用いた監視装置（全 231 機場）を用いて予防保全を推進 ・メーカーとの技術検証を行い、判定制度を向上させ維持管理業務に反映	下水道保全課
6	下水道設備のアセットマネジメントシステムのタブレット運用による業務効率化	・タブレット導入検討（端末管理含む） ・上記検討に基づく改善検討 ・システムでの更新計画策定の妥当性確認 ・資産登録内容の精度向上 ・効率的な新規資産登録の検討	下水道施設課 三宝水再生センター
7	積算システムの更新に伴う業務 DX	・要求水準書及び仕様書の作成 ・メーカーに見積依頼 ・システム更新の入札準備	技術力強化担当 水道建設課 下水道事業調整課 経営企画室
8	職場の ICT 環境整備 (Microsoft365 の利用促進)	・Microsoft365 に関する新たな ICT ツールの導入検討 ・研修等による利用の促進	経営企画室
9	災害時の情報共有強化のためのシステム導入 【単年度取組 093 の再掲】	災害対応に活用できる IoT 等の新技術の導入 ・web 会議システムやタブレットを用いた情報伝達訓練の実施、検証 ・新技術（漏水調査、管路内のカメラ調査等）の情報収集、他団体の先進事例調査	各部
10	統合基盤の更新	・要求水準書及び仕様書の作成 ・統合基盤更新の入札及び契約 ・令和 5 年度末までに構築完了（予定）	経営企画室

11	公共料金等支払いの見直し DX	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共料金や通信運搬費について、請求データの作成から支払までの業務の委託を試行</li> </ul>	事業サポート課
12	財務会計システム更新に伴う 業務 DX の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他事業体の開発状況の情報収集</li> <li>・ システムベンダーにおけるパッケージの開発状況の情報収集</li> <li>・ 費用対効果を考慮し必要な機能を検討</li> </ul>	事業サポート課
13	ネットワーク間の データ連携機能の拡張	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異なるネットワーク間のデータ伝送を、情報セキュリティを維持しつつ可能とする</li> <li>・ データ伝送により、外部記録媒体の運用を削減し情報セキュリティ対策を高める</li> </ul>	経営企画室

## 施策 02 経営基盤の強化

将来にわたり安定的に上下水道サービスを提供するため、収支バランスの改善と広域連携、公民連携により、経営基盤を強化します。

SDGs：ゴール	SDGs：ターゲット
 17 パートナシップで 目標を達成しよう	17.16 17.17

### KPI（重要業績評価指標）

#### 純損益（水道事業）（億円）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	—	40	0	0	△1	△8
実 績	10	8					

#### 単年度資金収支（水道事業）（億円）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	—	32	2	4	1	△9
実 績	7	20					

#### 純損益（下水道事業）（億円）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	—	3	12	10	8	11
実 績	18	17					

#### 単年度資金収支（下水道事業）（億円）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	—	△13	△3	△6	△6	△1
実 績	△6	△9					

事業概要

収支改善の取組を実行し計画期間内の累積損失を黒字化することで、収支ギャップを解消します。

また企業債借入水準を定め新規発行額を抑制することで、支払い利息の増加を抑制し将来世代への料金負担の偏りを防ぎます。

令和 5 年度は収支改善の取組として、浅香山浄水場跡地の売却など未利用資産の利活用や債権の早期収納などによる収入の確保に加え、水道管材料の変更により建設改良費のコスト削減などに取り組みます。企業債借入については、経営戦略で定めた収支見通しどおり執行できるよう適切な管理を行います。

重点PI

〔収支バランスの改善策等の効果検証〕

- ・決算時に経営分析を実施し KPI の計画値と決算値の差異を検証することで、取組の進捗や収支バランスの改善度を総合的に評価する。
- ・経営分析にあたっては、①収益性、②安定性、③効率性、④料金の 4 区分から構成される経営指標を経年比較及び大都市平均比較することで客観視する。

取組

No.161	計画期間内の累積損益の黒字化（水道事業）
担当部署	経営マネジメント担当ほか
取組概要	
・経営改善の取組（No.162～165）の実施	
No.162	料金収入の確保（事業サービス課）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水停止解除の適正実施、高額滞納者への法的措置による未納債権の早期収納を促進</li> <li>・「すいりん」の登録率向上【No.211 参照】</li> </ul>	
No.163	未利用資産の利活用（事業サポート課、水運用管理課、水道保全課）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浅香山浄水場跡地の売却に向けた検討、旧水道局官舎用地の貸付※</li> <li>・太井配水場の利活用に向けたサウンディング調査等の実施</li> <li>・広告媒体の活用や不用品の売却による収入確保</li> </ul>	
No.164	建設改良コストの縮減（水道建設課）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水支管更新材料変更による事業費の削減（配水用ポリエチレン管を約 12.5km で実施）</li> </ul>	
No.165	維持管理コストの縮減（水道事業調整課、水道保全課）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設最適化に向けた取組の推進（施設管理にかかる電力費削減の推進）【No.044 参照】</li> <li>・保全管理 3 業務（水管橋・弁栓類・災害時給水栓）を包括発注</li> </ul>	
No.166	企業債借入水準の適正化（水道事業）
担当部署	経営マネジメント担当
取組概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支見通しに基づき、計画的に企業債を発行</li> </ul>	

※ 浅香山浄水場の跡地の利活用状況に併せて、浅香山官舎用地を「売却」より「貸付」に変更

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	201,504	0	0	0	201,504
債務負担行為	144,000（令和 5～7 年度）				

事業概要

企業債制度の活用や地方公営企業法に基づく長期の借入を実行し、資金収支の黒字を維持します。将来に再び企業債に起因する資金不足を招かないよう、長期的な純損益と資金収支の黒字を確保することができる企業債の借入水準を設定します。また純損益と資金収支のバランスを確認しながら、長期的に経費回収率の適正化に取り組みます。

令和 5 年度は収支改善の取組として、泉北水再生センターの一部貸付など未利用資産の利活用や債権の早期収納などによる収入の確保に加え、事業の発注規模・方式の見直しなど建設改良コストの削減などに取り組みます。企業債借入については、経営戦略で定めた収支見通しどおり執行できるよう適切な管理を行います。

重点PI

〔収支バランスの改善策等の効果検証〕

- ・決算時に経営分析を実施し KPI の計画値と決算値の差異を検証することで、取組の進捗や収支バランスの改善度を総合的に評価する。
- ・経営分析にあたっては、①収益性、②安定性、③効率性、④料金の 4 区分から構成される経営指標を経年比較及び大都市平均比較することで客観視する。

取組

No.171	企業債制度等の更なる活用（下水道事業）
No.172	企業債借入水準の適正化（下水道事業）
担当部署	経営マネジメント担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本費平準化債制度を最大限に活用し、企業債の償還ペースを緩やかにすることで資金繰りを改善</li> <li>・収支見通しに基づき、計画的に企業債を発行</li> </ul>
No.173	経費回収率の適正化（下水道事業）
担当部署	経営マネジメント担当ほか
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改善の取組（No.174～177）の実施</li> </ul>
No.174	使用料収入の確保（事業サービス課）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水停止解除の適正実施、高額滞納者への法的措置による未納債権の早期収納を促進</li> <li>・「すいりん」の登録率向上（No.211 参照）</li> </ul>
No.175	未利用資産の利活用（事業サポート課、下水道施設課、下水道管理課）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉北水再生センター内の未利用地の貸付</li> <li>・広告媒体の活用や不用品の売却による収入確保</li> </ul>
No.176	建設改良コストの縮減（下水道建設課、下水道保全課、下水道施設部）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改築・耐震化工事における発注規模拡大</li> <li>・マンホールポンプ設備工事における概算数量設の試行実施</li> <li>・水再生センター設備における関連業務等の合体発注の検討</li> </ul>
No.177	維持管理コストの縮減（三宝水再生センター）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転管理の工夫による動力費の削減</li> </ul>

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	14,602	0	0	0	14,602
債務負担行為			0		



事業概要

大阪府や他の水道事業者と連携し、将来の府域一水道に向けた取組を推進します。また、他の事業者との共同化等の連携事業に取り組みます。

令和5年度は、「府域一水道に向けた水道のあり方に関する検討報告書」や「大阪府水道基盤強化計画」に基づく取組の推進及び他の事業者との業務の標準化等に取り組みます。また大阪広域水道企業団の構成団体として企業団の円滑な運営に寄与し、企業団の運営における取組として、企業団統合の促進に向けた方策を進めます。

取組

No.181	府域水道の全体最適の検討及び大阪市・大阪広域水道企業団との連携による府域一水道の機運醸成
担当部署	広域・公民連携・DX推進担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」における将来の府域一水道に向けた検討</li> <li>・企業団運営における企業団統合の機運醸成の方策の検討</li> <li>・府域一水道に向けた本市のあり方の検討</li> </ul>
No.182	他の事業者との連携事業（業務の標準化、システムの共同化等）の検討
担当部署	広域・公民連携・DX推進担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府水道基盤強化計画に基づく、事務の共同化やシステム・仕様の統一化等の検討</li> </ul>

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	0	0	0	0	0
債務負担行為			0		

事業概要

既存の公民連携にとらわれることなく業務をゼロベースで見直し、本市が引き続き担うべき業務と民間事業者等に委ねるべき業務の役割分担の最適化を図ります。そのうえで最適な公民連携手法により、公と民が共に育つ仕組みを創っていきます。

令和 5 年度は、水運用管理システム更新に係る公民連携手法導入可能性調査や、水再生センター、ポンプ場の維持管理体制のあり方の検討などを進めます。

また上下水道局ホームページに開設している公民連携プラットフォームや「水道 ICT 情報連絡会」等を通じて、幅広いジャンルの提案や情報の収集、実証実験やフィールド提供の実施など、民間ノウハウの活用や新技術の導入に向けて、調査及び研究を進めます。

取組

No.191	配水池等の運転管理及び維持管理体制の再構築
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入可能性調査による具体的な発注方法の決定</li> <li>・ 令和 6 年度の更新事業公募開始に向け発注支援業務（～令和 7 年度）の実施</li> </ul>
No.192	水再生センター及びポンプ場の運転管理及び維持管理体制の再構築
担当部署	下水道施設課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水再生センター及びポンプ場における将来の運転管理、維持管理体制のあり方を検討し方針を策定</li> </ul>
No.193	民間ノウハウの調査及び研究
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上下水道局 HP に開設している公民連携プラットフォーム等による情報収集</li> </ul>

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	30,000	0	0	0	30,000
債務負担行為	90,000（令和 5～7 年度）				

## 事業概要

包括的民間委託の適正なモニタリングと透明性や客観性を確保するためのモニタリング結果の公表を実施します。また更新時期を見据えた継続的な効果検証により、事業環境に応じた最適な公と民の役割分担の検討を進めます。

令和5年度は水道メーター検針・料金収納等業務や下水道管路施設維持管理等業務、水再生センター施設維持管理業務の包括的民間委託について、新たなモニタリング体制を構築しその結果を公表します。また、技術力やノウハウの確実な継承を目的とした人材育成を実施します。

## 取組

No.201	水道メーター検針・料金収納等業務
No.202	下水道管路施設維持管理等業務
No.203	水再生センター施設維持管理業務
担当部署	経営企画室 事業サービス課 下水道保全課 三宝水再生センター
<b>取組概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング体制の強化</li> <li>・モニタリング結果の公表</li> <li>・職員のモニタリング力の向上</li> <li>・技術継承に向けた仕組みの構築</li> <li>・更新時期を見据えた効果検証</li> </ul>	

## 予算額（千円）


項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	2,582,970	0	379,377	0	2,203,593
債務負担行為	0				



## 政策 04 信頼される上下水道へ

### 施策 01 利用者の利便性の向上

技術の進展や利用者のニーズを踏まえつつ、上下水道局における各種手続きを簡素化し、利用者の利便性やサービスの向上を推進します。

SDGs：ゴール	SDGs：ターゲット
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9.1

#### KPI（重要業績評価指標）

「すいりん」の登録率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	12.0	13.0	14.0	15.0	16.0	20.0
実 績	7.2	12.1					

来庁による給排水設備の申請※及び受付窓口の利用者数の減少率（％）

来庁による給排水設備の申請

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	0	0	0	0	△20	△40	△80
実 績	0	0					

受付窓口の利用者数

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	0	△5	△15	△25	△35	△45	△80
実 績	0	△38.2					

※ 給水装置工事申込・排水設備計画確認申請

事業概要

めまぐるしく変化する社会情勢に対応するため、急速に進化する ICT 等の新技術や利用者のニーズを的確に捉え、DX の推進によって来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスの 3 レスを実現するデジタル窓口を構築し、更なる利用者の利便性の向上につなげます。

令和 5 年度はスマートフォンアプリ「すいりん」の登録者数向上のため、ニーズ等に対応した機能拡充などを検討します。また、給排水設備工事管理システムの構築（令和 7 年度運用開始予定）をはじめとした行政手続きのオンライン化を推進し、来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスに取り組みます。

重点 PI

「すいりん」の登録者数

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	41,280	44,720	48,160	51,600	55,040	68,800
実 績	24,703	41,759					

申請手続きのオンライン化率（%）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	0	74	80	90	100*	—	—
実 績	39	80					

※ R7 年度に目標達成予定

取組

No.211	「すいりん」の機能拡充
担当部署	事業サービス課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニーズ等に対応したアプリの機能拡充の検討</li> <li>・ 利用者拡充のため、広報活動の実施</li> </ul>
No.212	行政手続きのオンライン化
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当、給排水設備課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 局全体の行政手続きのオンライン化を推進（令和 7 年度までに 100%目標）</li> <li>・ 給排水設備工事管理システムの構築に着手（令和 7 年度運用開始予定）</li> </ul>
No.213	スマートメーターの導入に向けた検証
担当部署	事業サービス課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートメーターの事例調査</li> <li>・ 包括的民間委託業者と連携した実証実験の実施</li> <li>・ New-Smart での事例を踏まえ、本市の実情にあった手法を検討</li> </ul>
No.214	手数料決済のキャッシュレス化
担当部署	事業サービス課、給排水設備課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 窓口における手数料決済のキャッシュレス化の検討</li> </ul>

予算額（千円）

項 目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現 年 度	33,299	0	0	0	33,299
債務負担行為	286,000（令和 5～11 年度）				



## 施策 02 利用者との信頼関係の構築

利用者に上下水道事業に対する理解を深めていただき信頼関係を構築するため、最適な媒体を活用した情報発信を積極的に図り、利用者の声をサービスの向上や業務改善につなげます。

SDGs：ゴール		SDGs：ターゲット
 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナシップで目標を達成しよう	16.6 16.7 17.17

### KPI（重要業績評価指標）

広報・広聴の満足度（項目「満足していない」の割合）※（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	—	5.0 未満	5.0 未満	5.0 未満	5.0 未満	5.0 未満
実 績	5.6	8.4					

※ 公募 500 人を対象とした市政モニターアンケート結果

事業概要

様々な世代に上下水道事業への関心と理解を深めていただくため、最適な広報媒体や手法により積極的に情報発信を行い、経営状況や事業の目的、効果等をわかりやすく伝えることで、事業運営の透明性を高めます。

また利用者からの多様な意見等を利用者サービスの向上や業務改善につなげ、その対応過程の見える化を図ることで、双方向のコミュニケーションを確立し、利用者との信頼関係を構築します。

令和 5 年度も市政モニターアンケート等を引き続き実施し、情報発信の満足度や認知度が低いものは局ホームページや Twitter 等での情報発信を強化します。

重点PI

広報媒体の認知度 (%)

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	21.5	22.0	22.5	23.5	25.0	30.0
実 績	21.0	20.4					

取組

No.221	各種媒体による効率的かつ効果的な情報発信
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケート等を活用した利用者満足度の把握</li> <li>・局 HP の内容充実や検索機能の向上</li> <li>・局 SNS、「すいりん」の機能を活用した早期の情報発信（事故やイベント等）</li> </ul>
No.222	ターゲットに応じたメッセージ性の高い広報の実施
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道事業への理解を深めてもらう機会の創出（局施設の見学会や出前教室等の実施）</li> <li>・ターゲットや手法、時期、費用対効果等を踏まえたイベントの実施</li> </ul>
No.223	利用者の声をサービスの向上や業務改善に反映
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の声に対する丁寧かつ速やかな対応や局内情報共有の迅速化</li> <li>・利用者の声に対する対応状況等の見える化（局 HP 等）</li> </ul>

予算額 (千円)


項 目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現 年 度	11,941	0	0	0	11,941
債務負担行為	10,000 (令和 5~9 年度)				





## 施策 03 カーボンニュートラルへの貢献

省エネ・創エネを進め、温室効果ガスの排出量を削減します。

SDGs：ゴール		SDGs：ターゲット
 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	 13 気候変動に 具体的な対策を	7.2 7.3 13.1

### KPI（重要業績評価指標）

温室効果ガス排出量の削減率（％）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	—	R12年度の目標達成をめざす				△50 <sup>※1</sup>
実 績	△34.2	△40.3					

※1 H25年度を基準年度とした削減率

事業概要

改築更新に併せた省エネ設備の導入や LED 照明設備への切替を進めます。また各水再生センターにおいては、消費エネルギーを考慮した汚水の適正処理により、温室効果ガスの排出量を削減します。

令和 5 年度は、風量の制御性に優れた送風機の改築更新工事や照明設備の更新工事(LED 化)を実施します。また水再生センターでは、省エネルギー・低コスト運転を継続することに加え、運転管理の改善に取り組み、温室効果ガスの排出量を削減します。

取組

No.231	省エネ設備の計画的な更新（省エネ機器）
担当部署	下水道施設課、水運用管理課
<b>取組概要</b> ・送風機の更新（石津水再生センター） ・照明器具の更新（泉北水再生センター、家原寺配水場）	
No.232	環境負荷の少ない事業運営（省エネ運転など）
担当部署	三宝水再生センター
<b>取組概要</b> ・省エネルギー・低コスト運転の継続（三宝水再生センター） ・運転管理の改善点探求 ・包括民間委託におけるインセンティブ制度を活用し、省エネルギー運転の推進（石津、泉北水再生センター）	

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	1,304,396	0	0	0	1,304,396
債務負担行為			0		

事業概要

既存施設を有効活用した再生可能エネルギーの創出に取り組みます。また再生可能エネルギー100%電力への切替など、費用対効果を見据えながら再生可能エネルギーの利用を推進します。令和5年度は上下水道施設における、再生可能エネルギーの導入可能性調査を実施し、自家消費が期待できる箇所への太陽光・小水力発電の導入検討を行います。また、再生可能エネルギー100%電力の調達方法に関する調査を実施します。

取組

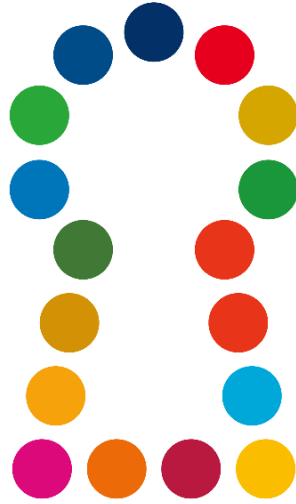
No.241	太陽光・小水力発電の導入検討
担当部署	事業マネジメント担当、下水道施設課、三宝水再生センター、水運用管理課
取組概要	・再生可能エネルギーの導入可能性調査の実施
No.242	下水道資源・エネルギーの利用
担当部署	下水道施設課、下水道事業調整課
取組概要	・再生水の水質基準の確認、内川への影響の確認 ・再生水利用者等と情報、意見交換を実施
No.243	再生可能エネルギー100%電力への切替
担当部署	経営マネジメント担当、技術力強化担当
取組概要	・再生可能エネルギー100%電力の調達方法に係る調査

予算額 (千円)

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	30,123	0	0	0	30,123
債務負担行為			0		







# SDGs未来都市・堺

Sustainable Development Goals Future City, SAKAI CITY

上下水道事業 単年度実施計画（令和5年度改定版）

令和5年 11月 発行

堺市 上下水道局 経営企画室

〒591-8505

堺市北区百舌鳥梅北町1丁39番地2

T E L : 072-250-9227

F A X : 072-250-6600

